

穴吹不動産流通株式会社 広島宮島街道店 市況レポート (11 月)

広島市佐伯区八幡東 高架橋の状況

広島市佐伯区八幡東に建設から 10 年以上経過しているが、車両の通行のできない高架橋が存在します。市によると、市道の建設が決まったのは 66 年前の 1957 年で、1996 年に八幡東一皆賀区間の 977 メートルで用地買収を始め、2011 年には高架橋を含む八幡東側の 305 メートルが完成しましたが。全体の開通によって西広島バイパスの入り口に向かう渋滞の解消につなげるはずが、残る 672 メートルで用地買収が難航になりました。

共有林の所有者が海外にいたり、相続の手続きがされていなかったりと、所在を確認する手続きに時間を要しました。その中には関係地権者が約 100 人という複雑なケースもあり、交渉は長期化しています。

市は完成した橋だけでも使えないか地元住民たちに相談しましたが「団地を抜ける車が増えて危険」と反対の意見が出て、現在も封鎖の状態が続いています。

その中 2020 年に動きがあり、市が西広島バイパス側の皆賀地区の工事に着手しました。

現在は川に橋を設け、山を削って道路を造る作業をしています。区地域整備課は「できるところから着手したい」。用地交渉と並行しながら、25 年度末の完成を目指しています。

(引用：<https://nordot.app/1023059272715075584?c=113147194022725109>)

近隣の交通網が発達することにより、利便性が向上すると、周辺の地価は上昇する傾向にあります。弊社では、お住まいの周辺地域の今度の動向を予想したうえでのご提案をさせていただきます。ご売却、ご購入の一つの判断材料になれば幸いです。

ご不動産のご相談は是非、穴吹不動産流通までお任せください。